

フレベツボッケ

概要

フレベツボッケは、阿寒湖の南にあるフレベツ岳にあります。ボッケという名前はアイヌ語の、「煮え立つ」という意味の「ポフケ」に由来しますが、一般的にいう泥火山のことを指しています。フレベツボッケ、阿寒湖畔のボッケと白湯山（はくとうさん）展望台周辺のボッケはすべて一直線上にあります。この3つのボッケは、阿寒地域を横断するように火山帯が地下に横たわっていることの現れです。事実、この火山帯は知床から、北海道の北東 1300 キロの千島列島まで続いています。

楽しみ方

阿寒湖温泉街からフレベツ林道を通って車と徒歩でアクセスできます。深い森の中、突如として、大きな灰色のボッケが姿を現します。火山泥の溜まりが湯気をあげ、ゴボゴボと音を立てています。この付近には十分な案内看板や柵はありません。ボッケから出る硫黄ガスは強烈なことがありますから、近づきすぎないように十分に注意して下さい。雌阿寒岳の火山活動のレベルによっては、フレベツボッケは立入禁止になることがあります。

警告：ボッケは 100 度近くにまで温度が上がりますので、柵を超えないでください